

(人災) いじめ、ダメ、絶対！ (AI面談)

☰ 概要

いじめの発生件数は年間約61万件(2019年度調査)であり、深刻な問題である。報告されていないいじめも多数あると考えられる。

いじめは、人の精神を直接害する事象であるため、防止、解決をすることで、負担を減らすことが出来るのではないかと考えた。

<案>

■~~学校~~職場ドローンによるいじめ監視体制

■SNS上でリアルタイムいじめ検知アプリ

■いじめを判断するシステム

- ・うそ発見器的な(ロボット)

■いじめ件数

https://www.mext.go.jp/content/20211122-mext_jidou01-000019036_03.pdf

■いじめ種類

<https://best-legal.jp/bully-type-12366/>

■いじめアンケート

<https://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaf04.pdf>

■AIによる感情判定

https://aismiley.co.jp/ai_news/what-is-emotion-recognition/

■音声感情解析システム

<https://www.es-jpn.jp/blog/%E3%83%86%E3%82%AF%E3%83%8E%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%83%BC/715/>

■AIで顔の筋肉のかすかな動きから嘘を見破る嘘発見器

https://www.excite.co.jp/news/article/Karapaia_52307923/

■『AI』いじめ予測分析システム

いじめが起きた場所、相手、報告者など約50に上る項目を入力すると、自動的にいじめが深刻化するリスクをパーセントで表示する。

<https://meitoukan.com/2020/10/30/%E3%80%8Eai-%E3%80%8F%E3%81%84%E3%81%98%E3%82%81%E4%BA%88%E6%B8%AC%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0/>

☑ 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

学校や社会で発生しているいじめの予防と解決。いじめ予備軍の検知。

<解決することで>


- ・個人の精神的負担を軽減すること。(最悪のケースが発生しないようにする)
- ・繰り返されるいじめの抑止力

☑ 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

■いじめを検知システム

タブレット・PC・ロボット(ペッパー君的な)を用いた面談を行う。

その際にAI声認証、表情のスキャン、会話の内容からいじめられているか判断する。健康診断等で必修項目として、定期的の実施。

 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

■いじめ、AIが見抜く仕組み導入へ「教員の勘と経験に頼るの限界」

いじめの有無だけでなく、自己肯定感を確かめる質問なども交ぜる。回答内容は、AIなどで自動分析。細かな変化などから、過去の事例と照らし合わせていじめの可能性を探る。（予算：約1500万、2023年度導入予定）

<https://www.asahi.com/articles/ASQ8Z779CQ8ZUTPB00G.html>

■いじめアンケート

■『AI』いじめ予測分析システム

いじめが起きた場所、相手、報告者など約50に上る項目を入力すると、自動的にいじめが深刻化するリスクをパーセントで表示する。

<https://meitoukan.com/2020/10/30/%E3%80%8Eai-%E3%80%8F%E3%81%84%E3%81%98%E3%82%81%E4%BA%88%E6%B8%AC%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0/>



有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

■既存システムとの違い

従来はアンケート結果をAI分析する自然言語処理ではなく、さらに生体データ（表情・声色）を基に、より深く分析を行う。

■アンケートとの違い

趣旨が異なり、アンケートは個人を見つけるものではなく、組織内のいじめ傾向を判断するもの。提案システムは、個人を検知し、どのような対策を取るかを判断するもの。



実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

1. 個人に対し電子タブレットやPC等による、面談(AIとの機械面談)を定期的実施。

※面談の内容は既存アンケート

2. 従来活用・研究されている以下技術を利用し、

面談の回答内容(アンケート)・会話中の表情や声色を基に分析を行う。

・『AI』いじめ予測分析システム

<https://meitoukan.com/2020/10/30/%E3%80%8Eai-%E3%80%8F%E3%81%84%E3%81%98%E3%82%81%E4%BA%88%E6%B8%AC%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0/>

<https://meitoukan.com/2020/10/30/%E3%80%8Eai-%E3%80%8F%E3%81%84%E3%81%98%E3%82%81%E4%BA%88%E6%B8%AC%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0/>

・音声感情認識AI

[https://www.es-](https://www.es-jpn.jp/blog/%E3%83%86%E3%82%AF%E3%83%8E%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%83%BC/715/)

[jpn.jp/blog/%E3%83%86%E3%82%AF%E3%83%8E%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%83%BC/715/](https://www.es-jpn.jp/blog/%E3%83%86%E3%82%AF%E3%83%8E%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%83%BC/715/)

・AIで顔の筋肉のかすかな動きから嘘を見破る嘘発見器

https://www.excite.co.jp/news/article/Karapaia_52307923/

3. 分析結果より、個人がいじめを受けているか、いじめを行っているかの、危険度や可能性を算出し、対応策の提示。

4. 分析結果より、人が対応策の実施を行う。



課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

【課題】

・AI教育データ(音声、表情、アンケート結果)

【克服法】

- ・音声、表情はオープンデータを活用し情報を収集する。
- ・アンケート結果は、全国の学校、企業等に対しアンケート結果収集の依頼をする。



期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

※目安：2023年度導入予定の類似システムの予算が約1400万。

<コスト>

開発予算：2000万~5000万

期間：1~3年

導入後はメンテナンスのみ。

<収益面>

月額 or 年額利用料を検討。



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

<恩恵>

- ・学校や会社でのいじめ減少によるストレス負担軽減
- ・いじめ発覚を恐れる加害者に対する抑止力
- ・不登校や自殺を抑止。人口減を防止。

<究極の理想像>

- ・いじめのない平和な世界